

親と子の輝く未来創造委員会では、親と子が互いに見つめ合い、敬い、共に生きていく尊さを考える場を提供することで、自立心や思いやりの心を醸成することが出来ると考え、親と子の両方に事業へ参画して頂き、子どもの自立心や思いやりの心を養うと共に、親は子どもの感性や可能性を共感し、互いに成長出来る親子関係について考えて頂く機会の創出をテーマに運動を推進しました。

事業開催日を含めた約二ヶ月間、「親子が見つめ合う機会の創出」、「思いやりの心の醸成」をテーマとした「親子みつめ愛プロジェクト」に取り組み、8月第一例会では、約170名の浦安市内在住のご家族や関係者の皆様にご参加頂き、親子を対象とした講演会、「親子みつめ愛プロジェクト」の集大成として、『親子の絆』と『OMO I Y A R I 音楽会』の発表を行いました。『親子の絆』においては、「親子のみつめ愛」をテーマに集めた約1500枚の親子写真や家族写真を用いたモザイクアートを制作し、8月第一例会終了後も「親子の絆」のメッセージを継続的に発信しました。また、『OMO I Y A R I 音楽会』では、子ども達が主役となり、タクティールケアで自分の親を笑顔にし、「OMO I Y A R I のうた」を披露することで地域の方々にも笑顔と思いやりを届けることが出来ました。初めて青年会議所の事業へご参加頂いた方も多く、当事業を通して、親子関係や思いやりについて考える機会や、家族が一つになってお互いを見つめ合う機会に繋がったとのご意見を頂戴する等、浦安青年会議所の存在をより多くの方に知って頂く機会になったと共に、当事業の主旨についてもご理解、ご賛同を頂いたのではないかと思います。また、今後継続的に事業を推進して頂くための道標を立てられる様な活動や、参加への呼び掛けを広く伝えていくことで、より多くの方に事業へご参加頂けるのではないかと考えます。

最後に、当事業に参加して頂いた子どもたちとその保護者の皆様、子どもたちへの指導や有意義なメッセージを伝えて下さった講師の皆様、事業運営をサポートして下さい浦安青年会議所メンバー並びにOB・OGの皆様のご理解とご協力があり、初めて実施することが出来た事業だと思えます。この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。